

平成28年度
学校関係者評価報告書

学校法人 佐藤栄学園
専門学校 埼玉自動車大学校

1. 目的

学校関係者評価は以下のことを目的として実施するものとする。

- ①自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。
- ③学校は評価結果を改善方策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や学校運営や教育活動などについて具体的に改善を図る。

2. 学校関係者評価委員

- ① 有地優美子 保護者 埼玉自動車大学校親交会 会長（委員長）
- ② 荒井 哲 保護者 埼玉自動車大学校親交会 副会長
- ③ 柏原美穂代 保護者 埼玉自動車大学校親交会 副会長
- ④ 細井和弘 第27期卒業生 株式会社オートガレージKAZU
- ⑤ 原島政幸 有限会社CarBodyShop Vick y代表取締役

3. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 平成29年5月26日（会場 埼玉自動車大学校 第1応接室）

第2回委員会 平成29年6月9日（会場 埼玉自動車大学校 第1応接室）

4. 学校関係者評価委員会報告（評価する点、改善点、要望等）

（1）教育理念・目的・育成人材像

- ・教育理念・目的・育成人材像が明確であり、現代社会に求められる人材を育成する学校に相応しい。
- ・建学の精神「人間是宝」、校訓「徳・技・知」の教育理念に基づいて、自動車整備の技術のみならず「社会人」と必要な徳操教育を実践し、時代のニーズにあった教育活動に取り組んでいる。

（2）学校運営

- ・平成28年度事業計画に沿って、教育や環境整備が実施されていると感じます。

（3）教育活動

- ・高度な新技術習得など、教員の教育スキル向上に対する意識がとても高いと感じられる。今後も技術情報の収集に努めていただきたい。
- ・メーカーの特別講習など積極的に実施されているが、他にも二級、車体、カスタムでの短期インターンシップなど、より企業との連携体制の確保をお願いしたい。

（4）学習成果

- ・学生の学習状況を保護者と学校が共有出来る仕組みを構築して貰いたい。

- ・就職活動や補講、自主学習者放課後指導などきめ細やかな対応して貰い、保護者としても満足している。

(5) 学生支援

- ・授業だけではなくクラブ・サークル活動など学生生活充実の活動を支援して頂き感謝している。
- ・現代社会の中で様々な悩みを持つ学生の、小さな変化を見過ごすことがないよう、心のケアやカウンセリングに細心の注意を持って当たって頂きたい。

(6) 教育環境

- ・4号棟実習場床塗り替え工事などの教育施設の充実に加えて、新型実習車両の導入などの教材の充実を行い、学生の学習意欲に寄与している。
- ・快適な学生生活を送れるように施設・機材・教材等の環境整備がされている。
- ・交通事故の悲惨さなども伝える授業も定期的実施してほしい。

(7) 学生の受入れ募集

- ・少子化や業界環境等の変化で入学定員を満たすことが厳しい状況となりつつあるが、ホームページのリニューアルやオープンキャンパス、各種イベントへの更なるアピールを行い、募集活動を積極的に行っている。

(8) 財務

- ・少子化も含め、環境配慮や高齢化に伴う流通車両の魅力の低下による整備士希望者の減少を鑑み、学生確保に努めてほしい。

(9) 法令等の遵守

- ・ネット社会における情報管理の徹底化、個人情報保護、ハッキング等に対する迅速な対応に取り組んでほしい。
- ・学校評価の公開による埼玉自動車大学校の魅力アップ、内容開示による保護者への信頼度アップに繋がっている。

以 上